

RI第2510地区

留萌ロータリークラブ

会報

2012 ▶ 2013
WEEKLY REPORT



奉仕を通じて
平和を

田中作次

2012-13年度
国際ロータリー会長

留萌
ロータリークラブ
会長目標

ロータリーを楽しく・
学び・奉仕しよう

会長／山本讓二 幹事／森 幹雄

プログラム

●本日
ロータリー財団月間にちなんで

結婚記念日
11月7日 関野 政人

●次週予定
来賓卓話「税を考える週間にちなみ」
留萌税務署 山本署長

No. 2534

第18回 11月7日

出席報告

前
例
会

会員総数……………43名
出免会員……………10名
出免出席……………8名
基準会員出席……………26名
出席率……………82.92%

前
々
会

第15回 10月14日
欠席会員……………10名
内メイクアップ……………4名
修正出席率……………95.00%

例会／毎週水曜 12:15～13:15 留萌産業会館2F

📝 会長報告 ……………

1. 2012～2013年度も早いもので4ヶ月が過ぎ1／3が終わりました。残り8ヶ月ですが皆様なお一層のご協力をお願いします。なお、明日11月1日は第5回定例理事会及び第3回クラブ協議会です。関係者はお忘れなくお願いします。

👥 委員会報告 ……………

ロータリー財団委員会 鈴木委員長
10月は米山月間、11月はロータリー財団月間です。財団寄付・米山寄付に付きましては、11月14・21日の例会にて受付いたします。皆様の善意が財団・米山の血肉となりますので、今年度もよろしくおねがいします。

📖 幹事報告 ……………

- ・芦別RCより11月例会案内と会報を受領しました。
- ・砂川RCより11月例会案内を受領しました。

🗨️ ニコニコBOX ……………

- ・古希のお祝いありがとうございます
清水ガバナー補佐
- ・先週は長々と時間を使ってしまい申し訳ございませんでした。また、やん衆横丁の券を購入いただきありがとうございます。11月13日は滝川商工会議所会頭の渡邊パスト・ガバ

第17回 10月31日(水) 天候/雨

ナーもいらっしゃいますのでぜひご来場くだ
さい 高橋会員
•おかげさまで元気になりました。お見舞いあ
りがとうございました 明澤会員

前 回 291,000円
今 回 23,000円
累 計 314,000円

📖 プログラム 慶祝夜間例会/観楓会





(先週のつづき)

翌朝、本会議が開催される、新ひだか町公民館へ向かうバスの窓からは、晴れ渡った秋の空が、寝ぼけ眼の向うに広がってありました。

本会議は、9時の点鐘に始まり、次第に沿って進められて行きましたが、来賓の祝辞として高橋はるみ知事から、「自分の父親がロータリアンだったので、幼い頃はクリスマスパーティがとても楽しみだった」と聞かされました。

私は、高橋はるみ知事に直接お会いするのは、初めてでしたので、にこやかな面持ちの立ち姿にオーラさえ感じながら、じっと話を聞いていたのですが、その口から「私の父もロータリアンでした」と聞かされた瞬間、背筋にビリッと電気が走りました。

又、昼食後に行われた台湾出身の評論家で、テレビの討論番組でも活躍される金美齢さんの記念講演の中で、「私の主人は米山奨学金を受けて、医師になる事が出来ました。ありがとうございます。」とお礼を言われ、再びビリッと電気が走りました。

来賓の知事からも、著名な講師からも、ロータリアンとの深い結びつきに付いての話が出る事など、新米ロータリアンの私としては、想像もしていなかった事なので、ロータリアンのすそ野の広さに、只只驚くばかりでした。

又、昼食をとっている時に、赤平ロータリークラブの野球部が全国大会に出場し、「甲子園で試合をしてきた」と聞かされました。さらに、

甲子園で試合が出来るのは、プロ野球と高校野球と、ロータリークラブの大会だけであると教えられました。

後で調べてみましたら、阪神タイガースの元オーナーで、甲子園球場の設計にも携わった野田誠三という方が、大阪北ロータリークラブの初代会長であったことがわかり、甲子園とロータリーとの結びつきにも、驚かされる事となりました。

本会議は、予定時間を少し過ぎた、4時過ぎの点鐘を持って終了しました。

途中、細川ガバナーが檯上で倒れるという、ハプニングもありましたが、私にとっては、ロータリーのなんたるかの一片を知る事が出来た大会となりました。

懇親会の席を早々に、留萌への帰路についた車中では、会長とガバナー補佐に頂いた差し入れのビールを片手に、途切れる事なく会話は続き、気がついた時には留萌に到着しておりました。

最後になりますが、2日間の強行日程をこなされた、清水ガバナー補佐、山本会長、森幹事、本当にご苦労様でした。

又、サロンバスの手配や、その他様々な配慮をして下さいました西谷恭治さん、本当にありがとうございました。楽しい思い出が出来ました事を、心より感謝申し上げます。

以上をもちまして、私の地区大会の報告と致します。ありがとうございました。

第17回 10月31日(水) 天候/雨

森 幹雄 会員

この度の地区大会は、新ひだか町という遠隔地で開催されたにも関わらず、多くの会員に登録・参加頂きありがとうございました。



登録数は、家族登録も含めて34名、参加会員は24名でした。会員の方はもとより例会運営委員会の方々のご尽力に改めてお礼申し上げます。

昨年、幹事の指名を頂いた時は、まだ地区大会の開催地がガバナー出身の新ひだか町か札幌市での開催かが決まっていませんでした。後日、地区大会の開催地は新ひだか町静内に決定と聞き、直ぐ静内のホテルの予約を指示しましたが、予約を取る事は出来ませんでしたので、仕方なく苫小牧市のホテルに仮予約を入れました。年が変わって1月、「もっと会場に近いところを探してもらいたい」との希望が多く有りましたので、静内のホテルに相談し近隣の宿泊施設を数ヶ所紹介頂き、この度宿泊の新冠温泉ホテルヒルズに決めました。

大会当日は7時30分、山本会長の運転で札幌へ向って出発、札幌から道南バスの高速バガサス号で10時00分出発、12時30分静内着、13時から会長・幹事会に出席致しました。札幌まで来た車は、同乗された奥様が留萌へ運転して帰られました。山本家一家総出での地区大会へのご協力ありがとうございました。

記念講演の演題は、「凜とした日本人」

講師は、金 美齢氏

東日本大震災では台湾という小さな国が、世界一の義援金をいち早く支援することを決めた。

なぜなのか？この問いかけから主題が論じられました。戦前、台湾を統治することになった日本は、欧米の搾取、略奪主体の植民地政策とは反対の本土並みにしようと、教育のための学校、病院、鉄道、生活のためのインフラ整備等に日本の国家予算を使い、現在の台湾の基礎を作った事を台湾の人々は忘れてはいない。父から子へ、子から孫へと伝わっている。だから、いの一で義援金を日本に送ることが出来たのです。同じ話を韓国ロータリーの方からお聞きした事を思い出しました。「今の韓国があるのは日本のお陰です。でも今の韓国でこの事実を、声を大にして言う事は出来ない、悲しい事です」とボツリと言われました。私達の先人を評価する人々の発する声は小さいが数が少ないわけではない、批判する人々の発言や行動に目が行きがちだが、数が多いわけではない、言葉を発しない人々の底辺は広い。

私は、以前から統治時代に、日本の国家予算が傾く程支援した国々に罵倒され続けられる日本に「何故」、「何故」、「何故」と疑問を呈してきましたが、この度の講話で胸のつかえがとれた気がしました。

日中国交再開時に、「私たちは、水を飲むとき井戸を掘った人の事は忘れない」と言った中国要人の言葉が、私達の先人の評価につながればと思いました。

そして、敗戦で自虐感を引きずる日本人ではなく、品格ある日本人たれ、凜然たる日本人たれ、武士道精神を持った日本人たれとの言葉を頂いたこの度の講演でした。

例会プログラム【11月】

11月14日(水) 来賓卓話「税を考える週間にちなみ」 留萌税務署 山本署長

11月21日(水) 来賓卓話「新教育長抱負」 留萌市教育委員会 麻林教育長